



## ●令和 3 年度

### 第 2 回 紋別中学校区学校運営協議会(CS)

11 月 11 日（木）に紋別中学校視聴覚室で CS を開催しました。

スクールソーシャルワーカー（SSW）の尾崎氏より、SSW の仕事（活動）について、紋別市の不登校の実態について、活動を通しての気づき、学校・保護者・地域がこれからできることについて講演していただきました。その後、各学校で不登校について交流を行いました。

#### 紋小の交流内容

- ・ ケースバイケースだが、対応の手順について保護者に周知していく必要があるのでは。
- ・ 小学校前から不登校になる兆しがある事がある。紋別市には育ちの手帳（子育てサポートファイル）があるが、うまく活用されていない所があり連携ができていない。
- ・ 学校という居場所だけでなく、地域として様々な居場所を作っていく事が必要。
- ・ 保護者の生活状況によって、子どもに影響がでる事もある。保護者が悩みを共有できるようなコミュニティも必要。

#### 南小の交流内容

##### (1) 学校ができること

- ・ 子どもが安心・安全に登校できる学校環境づくり  
→ 人的環境（教職員の対応など）を教職員研修などで整える。
- ・ 個に応じた支援ができる体制づくり  
→ 担任だけでなく、管理職を含めたチームで対応する。
- ・ 関係機関との連携  
→ 関係機関と情報交換したり、保護者と関係機関を繋げたりする。

##### (2) 保護者ができること

- ・ 学校との連絡、相談  
→ 定期的に学校と連絡をとり、児童の状況を確認し、相談する。
- ・ 関係機関に相談  
→ 状況に応じて関係機関に相談する。

##### (3) その他

- ・ 子どもが学校へ行く意味を考える機会を設けることで、登校意欲となるのではないかな。

#### 紋中の交流内容

- ・ 不登校になる原因は、色々あるので一律の対応ではよくない。
- ・ 学校だけでは限界があるので外部の協力が必要である。
- ・ ふれあい教室と密な連携が必要。
- ・ 学校と SSW の連携が必要。
- ・ ふれあい教室にも行けない子をどうするか。  
→ 週 1 回 SSW が家庭訪問してはどうか。

紋別市として様々な支援の形がありますが、うまく機能しきれていない現状があります。これを機会に関係機関が連携を取り合えたらと思います。

**【紋別中学校区学校運営協議会から市教委へ、下記の内容を要望することとしました】**

- ・ スクールカウンセラーは道からの派遣により日数（時間）も限られるため、各校の要望に対応しきれていない現状があるので、日数を増やしていただきたい。  
→ SSW の尾崎さんの講演からも訪問回数が少なく十分な対応ができていないことがわかりました。